



VICTORINOX

008

My First Victorinox Multi Tools

vol.8 木の枝を集めてティピをつくろう



VICTORINOX

ビクトリノックスのマルチツールは、今から130年ほど前、スイスの小さな村で生まれました。今回は、子ども用に開発された「ティンカー for KIDS」を使って、木の枝でティピを作ります。先生は、大阪を拠点に活動している建築家の西山広志さんです。



# How to make a Teepee

木の枝を集めてティピをつくろう



1 ラウンドティップ・ブレードで、とがった部分を切りおとします。



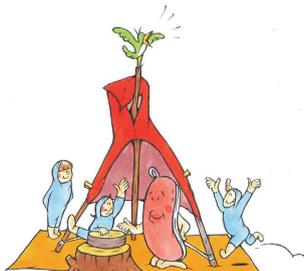
2 やすりでけずって、なめらかにします。



3 3本を仮組みして、棒の上下を決めます。



4 地面から「ティンカー for KIDS」1本分の高さのところに印をつけます。



**用意するもの**  
ティンカー for KIDS  
木の枝 3本  
ロープ  
パーカー  
クリップ



5 リーマーで、印をつけたところに穴をあけます。(3本とも)。



9 パーカーをかぶせて、すそをクリップでとめたら完成!



8 端をしっかり結んで固定します。



7 形が決まったら、5であけた穴にロープを通します。



6 穴とは逆手をロープでしばり、少しねじるように広げて形をととのえます。

## profile

西山広志 建築家。NO ARCHITECTS 共同主宰。1983年大阪生まれ。神戸芸術工科大学大学院を修了し、2011年 NO ARCHITECTS を設立。建築をベースに、設計やデザイン、ワークショップ、会場構成、まちづくりなど活動は多岐にわたる。

**point!** ▶ 木の枝を選ぶときは、できるだけ同じ長さのものを探しましょう! 両端を持って少ししならせて、くさっていないか強度を確認します。ポロポロとはがれそうな樹皮があったら、ラウンドティップ・ブレードでけずりましょう。パーカーはできるだけ大きなサイズのものを選ぶと、空間が大きくなりますよ。



写真: 福田真知子 (表面)、奥平桂子 (裏面) イラスト: 中垣ゆたか



## VICTORINOX

スイスの小さな村で生まれた  
マルチツール

1884年、ドイツとフランスで刃物づくりの修業を積んだ創業者カール・エルズナーが、故郷スイスのイーバッハという小さな村で工房を開設したことから始まり、ビクトリノックスのマルチツールは生まれました。創業から1世紀以上、人々の日常生活をサポートするだけでなく、エベレスト、アマゾンやスペースシャトルの船内など、さまざまなアドベンチャーの現場にも立ち会っています。

## VICTORINOX for KIDS

先端が丸くなったナイフを搭載したマルチツール「ティンカー for KIDS」は、子どもが初めてもつ1本として推奨しています。その「ティンカー for KIDS」と、ナイフを使った工作を提案する「脳育工作キット」をセットにした「ビクトリノックス脳育工作 BOX セット」。ナイフの正しい使いかたを学べる教本も同梱され、ナイフ経験に自信のない保護者の方でも、子どもと一緒に楽しむことができるセットです。



ティンカー for KIDS (単品)  
¥3,000 (税抜)



脳育工作 BOX セット  
ひのきのおやこばし  
¥4,000 (税抜)



脳育工作 BOX セット  
ひのきのとんぼ  
¥4,000 (税抜)

【お問い合わせ】 ビクトリノックス・ジャパン株式会社 ☎ 03-3796-0951  
www.victorinox.com/jp